



立憲民主党公認

渡辺創そう

元新聞記者

県議3期

衆議院議員1期

【プロフィール】

宮崎市出身47歳。新潟法政学部卒業後、毎日新聞入社。東京本社政治部記者などを経て、2011年に宮崎県議会議員初当選(連続3期)。前回2021年の第49回衆議院選挙(宮崎1区)を制し国政へ。衆議院では予算委、農林水産委、災害対策特別委などに所属し、国会論戦の最前線に立ってきた。党本部では、国会対策委員長補佐、災害・緊急事態局事務局長などを経験。党宮崎県連代表。

【渡辺創選挙事務所】

〒880-0001
宮崎市橋通西4丁目1-22
TEL.0985-34-9888
FAX.0985-34-9877
watasou@cdp-miyazaki.jp

「歩み」を 支える まっすぐ➔

衆議院での3年間は、政治の役割を改めて自問し続ける日々だった。特定層だけに利潤をもたらす差配が横行し、「政治とカネ」で信頼が失墜した、この国の政治。

「あなたたちは私をみているのか」。そう問われ続けていると感じていた。

みんな必死で生き、何かを守るために歯を食いしばっている。そんな一人ひとりの歩みを尊重し、「きつと大丈夫」と信じられる社会を私は皆さんと築きたい。あなたの「次の一歩」を支えたい。

役割は、大言壮語することではない。

信条は、まじめに、まっすぐ。

目指す社会像

「人間中心の経済 ～ヒューマン・ エコノミクス～」の 実現を!

この理念は、新時代の青写真として仲間とともに築き上げてきたものです。徹底的に「人」に着目して、「人」を支え、すべての「人」の能力を最大限に引き出す経済を構築します。「安心の立て直し」から国民生活を支える経済基盤を作り、すべての国民が尊重され、健康で文化的な生活を営むことのできる社会を築きます。

〈8つの柱〉

- 1.人の可能性を拓く投資
- 2.地域経済を活かす新たな循環
- 3.国民所得の底上げ
- 4.支え合う社会制度の拡充
- 5.個人の選択肢の拡大
- 6.憲法を踏まえた現実的な外交・安全保障
- 7.災害・危機に機能し、責任を持つ政府
- 8.政治資金改革など民主主義のアップデート

みなさんの「次の歩み」を「支える」ために、 渡辺創は取り組みます!

将来を見据えたこだわり

“国民の安心”を 築くために 農林水産政策の アップデートを!

一貫して農林水産委員会に所属してきました。国民の食に直結する農林水産業を維持し、食料供給を安定化させることは、国家の重要な役割です。生産コストの上昇や各種負担を生産者に押し付けない「まっとうな価格形成」が不可欠です。そのうえで農地集約、スマート化を支えると同時に、農地維持に着目した新たな保障制度などで多様な農業を守ります。

衆院選後の焦点

「消える保険証問題」 の解決を!

政府は12月に現在の健康保険証の発行を停止する方針です。マイナ保険証の利点を否定する気はなく、メリットを享受したい人が便利であることは構いません。一方で現在の利用率は12.43%(R6.8月時点)にとどまります。情報管理や安全性に不安を持つ人が多数を占めるのは事実。現状はあまりに拙速であり、民意軽視です。選挙を通して民意を示し、政府方針を撤回させましょう。

選挙中、毎日20時から
渡辺創の選挙ニュース「明日もまっすぐ!」配信!

ホームページ

渡辺創の総合プラットフォームはこちら。各SNSへの入り口にも



YouTube

演説会などの中継もこちらから。これまでの国会論戦も字幕付きでアップしています

